

(別添資料1)

事業所名

めぶみ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025 年

3月

18 日

法人（事業所）理念		子どもの居場所となり、職員も一緒に心身ともに成長しながら安心して日常生活を送れるようサービス提供を行います。									
支援方針		いろんな場面で職員が寄り添いながら「できた」を積み重ね、職員と共有しながら成功体験につながる環境づくりを目指します。ご家庭と協力して子どもの特性や発達の状況に合わせた支援や家族の子育てに関する不安や困り感を共有し助言を行います。									
営業時間		10時0分から16時0分まで				送迎実施の有無		あり		なし	
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・子どもの健康状態の把握をします(来所時の検温、日中の健康観察) ・排泄、食事、手洗い、歯みがき、衣服の着脱等、日常に必要な生活スキルの習得を子どもの能力に応じて見守りと必要に応じた支援を行います。 ・日中の活動の場となり身体を楽しく動かす活動を提供し、健康に過ごせるよう促します。									
	運動・感覚	・バランスボール、トランポリン、散歩等、子どもの好きな活動を通して楽しく体を動かします。 ・制作活動で道具を使い手先を動かす機会を増やし作る楽しさを提供します。									
	認知・行動	・一日の活動の流れを作り時間を意識しながら活動をします。 ・子どもが発信するサインに職員が呼びかけ話かけることで伝わった実感を積み重ねられるようにしていきます。									
	言語コミュニケーション	・うまく伝えられない子どもに対して身振りや表情で気持ちを汲み取り、職員が様々な子供に伝えながら人と関わる機会を増やします。 ・いろんな活動の中で多くの言葉に触れる場面設定を行います。									
	人間関係 社会性	・安心して自分らしくのびのび過ごせるような時間を提供します。 ・来所時や帰りの際にお友達や職員に元気に挨拶する習慣を身につけます。 ・好きな活動を通して子ども達同士で関わる機会が増えるよう職員が間に入りサポートします。									
家族支援		家族からの相談や悩みに対しての助言を行います。 わりの中での子どもの様子を詳しく伝え、困り間や気づきをいつでも話せる関係作りを目指します。				移行支援		集団生活や社会生活に適応できるよう子どもの特性に応じて支援をします。調理や買い物などの活動を余暇活動を通してスキルを身につけていきます。			
地域支援・地域連携		関係機関と連携し情報共有を行い、統一した対応を行います。地域や自立支援協議会などの関係機関との連携を行います。				職員の質の向上		研修等で発達特性や支援の仕方を学び専門性を高めます。外部講師による研修(ティチャーストレーニング)の実施。外部研修への積極的な参加。			
主な行事等		季節の行事(初詣、夏祭り、水遊び、クリスマス会等)を開催 外出(公園、散歩、図書館訪問、買い物) 保護者参加のイベント、避難訓練									